


環境省・オフセット・クレジット（J-VER）制度認証委員会
（事務局：気候変動対策認証センター） 御中

平成24年1月16日

検証結果の概要報告書

検証結果の概要について以下の通り報告いたします。

対象プロジェクト名						
木曾三川水源造成公社 間伐促進プロジェクト ～ 水源の森づくりプロジェクト ～						
GHG 検証機関						
当該プロジェクトにおける検証を行うにあたり、当該プロジェクトに関して一切の利害関係がないことを宣誓します。						
機関名	SGS ジャパン株式会社					
担当部署名	認証サービス事業部 森林認証部					
責任者名	矢口 哲三					
責任者 E-mail	Tetsuzo.yaguchi@sgs.com					
責任者電話番号	045-330-5047					
審査員名 ⁱ	矢口 哲三/主任検証員（チームリーダー） 今泉 俊一/主任検証員（レビューアー）					
機関要件への合致	暫定的な妥当性確認・検証機関としての要件を満たし、暫定妥当性確認・検証機関としての登録を受けています。					
検証報告書発行日	2012年1月16日					
検証結果						
適用妥当性確認・検証ガイドライン	オフセット・クレジット（J-VER）制度 妥当性確認・検証ガイドラインVer.2.0					
検証期間	2011年11月26日～2012年1月16日					
現地審査	期間	2011年12月6日～8日				
	審査内容	「木曾三川水源造成公社 間伐促進プロジェクト～水源の森づくりプロジェクト～」に対し、提出されたモニタリング報告書に記載された2008年4月1日～2011年3月31日の期間の吸収量情報について、合意された検証範囲、目的及び基準に基づき、合理的保証を付与する水準にて検証を実施した。その結果、モニタリング報告書に記載された吸収量情報は、オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則、環境省 モニタリング方法ガイドライン、森林吸収源ポジティブリスト・方法論（R001・JRAM001）に基づいて作成されており、全ての重要な点に関し、適正であると認める。				
排出削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012
	t-CO2	3,431	4,501	5,565	—	—

<p>検証結果の要約</p>	<p>「木曾三川水源造成公社 間伐促進プロジェクト～水源の森づくりプロジェクト～」に対し、提出されたモニタリング報告書に記載された2008年4月1日～2011年3月31日の期間の吸収量情報について、合意された検証範囲、目的及び基準に基づき、合理的保証を付与する水準にて検証を実施した。その結果、モニタリング報告書に記載された吸収量情報は、オフセット・クレジット（J-VER）制度実施規則、環境省 モニタリング方法ガイドライン、森林吸収源ポジティブリスト・方法論（R001・JRAM001）に基づいて作成されており、全ての重要な点に関し、適正であると認める。</p> <p>当プロジェクトの2008年4月1日～2011年3月31日の期間の二酸化炭素吸収増大量は、13,497t-CO₂であることを確認した。</p> <p>本検証意見は、別添のモニタリング報告書に基づくものとして解釈されなければならない。</p>
----------------	--